



4年ぶりに敬老福祉大会が開催

また、「ものまね&歌謡ショー」では、会場は大きな笑い声に包まれ、楽しいひとときを過ごしました。

また、「ものまね&歌謡ショー」では、会場は大きな笑い声に包まれ、楽しいひとときを過ごしました。

9月16日、千代川公民館において、敬老の日にちなみ長寿を祝う「第49回敬老福祉大会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりの開催となった会場では、市内の老人クラブをはじめ、65歳以上の高齢者約150名の参加がありました。

老人クラブって？



高齢者の生活を健全で豊かなものにし、高齢者の健康増進を図ることを目的として、活動しています。令和5年度の単位老人クラブ数は、11クラブ、会員総数186人です。ねんりんスポーツ大会やニュースポーツ体験教室、敬老福祉大会など年間を通して様々な事業を行っています。

福井県あわら市との教育交流事業が行われました

下妻市と福井県あわら市は平成27年に姉妹都市の盟約を結んでおり、この教育交流事業は、互いの市のよさを学ぶとともに歴史学習やスポーツ体験などを通じて親交を深めることを目的に、平成29年度から実施しているものです。

今年は、8月21日から22日にかけて下妻市の中学生が、福井県あわら市をたずねる形で教育交流事業が実施されました。

1日目

福井県立恐竜博物館を見学



恐竜博物館でパシャリ！
恐竜骨格や化石・標本、ジオラマ、復元模型などが展示されており、大迫力の恐竜を間近で見ることができました。



あわら市役所を表敬訪問



あわら市役所で歓迎式が行われ、東部中学校の佐々木美緒さんが下妻市の生徒を代表し、「下妻市とあわら市の関係について今まで以上に深く学びたい」とあいさつしました。



2日目

あわら市の中学生とグループ協議



「生徒会活動の活性化」をテーマとしたグループ協議。令和2年から昨年まで、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン交流でしたが、今年は4年ぶりに対面での交流となりました。生徒が主体となって取り組む校則改正について熱心に情報交換していました。

モルック体験



チームごとに作戦を練っての体験では、歓声を上げたり、ハイタッチをしたりしながらゲームを楽しみました。あわら市の中学生との心の距離がぐっと縮まりました。



※モルックとは、フィンランドの伝統的なゲームを元に、老若男女が楽しめるものとして考えられたアウトドアスポーツです。